

令和6年度 丸亀市図書館協議会 第1回会議 会議録

1. 日 時 令和6年7月25日（木）午後1時30分～2時30分

2. 場 所 丸亀市立中央図書館1階会議室

3. 出席委員（五十音順）

香 川 真 実
亀 山 京 子
古 村 博 子
詫 間 裕 一
中 俣 保 志
新 禮 子
真 鍋 真 紀

4. 欠席委員

山 崎 洋 子

5. 事務局

協働推進部長	田 中 壽 紀
図書館 館 長	氏 家 雅 子
図書館 次 長	藤 本 仁 美
図書館 担当長	尾 崎 里 美
	関 野 真 樹

6. 傍 聴 者 なし

7. 開 会

- ・当該会議録について、市ホームページに掲載する旨を告知

8. 会議の成立

- ・過半数委員の出席により、会議成立

9. 部長あいさつ

図書館は、今年度の機構改革で市民生活部から協働推進部の所管となったが、私は、協働推進部長として引き続き図書館の運営に携わるのでよろしくお願いいたします。子どもたちは夏休みに入り、本を読む機会が増えており、図書館では涼しい環境を提供していきたい。本日は、今年度の事業計画や昨年度の事業実績を報告し、皆様方からご意見をいただき市民に必要とされる図書館としての使命を果たしていきたいと考えている。

10. 委員自己紹介

11. 事務局紹介

- ・事務局 部長から図書館において涼しく快適な環境を提供したいという話があったが、図書館はクーリングシェルター指定施設になった。図書館は公共の施設として様々な役割を担っていく必要があると感じている。今後、ご審議が必要なこともあるかと思う。よろしくお願いいたします。

12. 議 事・質 疑 等

(1) 会長の選任

- ・選任は委員の互選によるが、特に意見なし。
- ・「事務局案の提示を依頼する」との声により、事務局案を提示
会長には中讃高等学校連盟 香川県立飯山高等学校 校長 詫間 裕一様を提案し、了承を得た。
- ・会長就任の挨拶
スムーズな会の進行ができるよう委員の皆様にはご協力をお願いしたい。

(2) 令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画について

- ・事務局 「令和 6 年度 図書館要覧」に沿って説明
- ・委 員 令和 6 年度の予算について、図書館運営費、資料費は電子図書館の準備等もあることから、前年度より予算が増額しているが、図書館施設費については減額している。何故か。
- ・事務局 令和 4 年度に電気代が上がり、光熱水費について増額補正を行った。令和 5 年度の光熱水費についても増額したが、予想ほど電気代が上がらなかったため、令和 6 年度については、補正前の額に戻し予算計上をしたため、マイナスになっている。
- ・委 員 レファレンス件数については、県内では香川県立図書館が毎年 2 万件程度と一番多く、次に高松市図書館が多い。その中で、丸亀市立図書館のレファレンス数は

1 万件と多く熱心に対応されていると感じる。丸亀市立図書館 3 館全体のレファレンス数は減少しているが、飯山図書館の件数が伸びているのは、地域との繋がりが強い飯山町の可能性が反映しており評価すべきだと思う。

児童書の月別貸出冊数については、前年度比は 92%で、8%減になっている。児童書の貸出数は全体の 45%を占めており、図書館でも貸出のメインになっているため、回転も早く、絵本も含めると一般書の 4 倍ぐらいの動きがある。児童書の貸出冊数の 8%減少をマイナスにとらえる必要はなく、寧ろ、少子化の中で、十分なサービスが行えているという評価ができる。

・ 委 員 司書コレとお楽しみクリスマスブックスがどの程度利用されているのか教えていただきたい。また、読書通帳の配布実績については、小学校 4 年生全員と希望者への配布の実績だと思うが、50 冊読んだ生徒がどの程度いるのか教えていただきたい。

・ 事務局 司書コレは、1 袋 3 冊を 1 セットとして、中央図書館 50 セット、飯山図書館 20 セット、綾歌図書館 10 セット準備し、すべて貸出されている。返却された本は、司書コレコーナーで引き続き貸出している
お楽しみクリスマスブックスは中央図書館 100 セット、飯山図書館 60 セット、綾歌図書館 30 セット準備し、人気があるため、すぐに貸出にでしてしまう。
読書通帳については、集計をしていないが、何回も交換に来られる生徒は同じ顔ぶれである。

・ 委 員 秋の読書週間の展示で県内の公共図書館の連携企画を見たが、楽しい P O P が飾ってあり、普段読まない本を借りることもでき大変良かったと思う。この企画は毎年あるのか。

・ 事務局 コロナ禍においても図書館から明るい話題を提供することにより、地域住民が読書に親しむきっかけとなるよう、県内の公共図書館の連携企画として「つながる図書館」を始めた。テーマは毎年変え、継続していく予定である。

・ 委 員 図書館の重点課題として、各課や関係施設における課題・取組の連携とあるが、具体的に実施されていることはあるのか。

・ 事務局 丸亀市の公共施設として、市として進めている施策や情報を発信するため、各課に、図書館を展示の場として活用してもらえよう持ち掛けた。例えば、環境月間のカーボンニュートラルについては、ゼロカーボン推進室が 2050 年を目指してゼロカーボン推進の取組をしているため、ポスターやチラシとあわせて関連本の展示を行い、啓発活動を行った。

市の人権課が進めている男女共同参画についても、展示とおはなし会を連携して実施し、併せて本も借りてもらうという取組を行った。

健康課と連携し自殺や糖尿病予防月間に展示を行い、福祉課の平和記念式典に関連して、戦争関係の本や資料の展示を行っている。市の施策について、図書館の資料を活用することにより市民に認識を深めてもらい、情報を提供するという役割を担うため、重点課題に掲げて取り組んでいる状況である。

- ・ 委 員 子ども達のための様々な展示は、学校関係者としてありがたいと思っている。夏休み応援棚も大変助かっている。団体貸出もテーマに応じた本を快く集めてくださり、貸出期間も1ヶ月と長く、学習に役立てることができる。また、マイライブラリーから予約して団体貸出ができるので利用したい。
- ・ 委 員 学校回送について、同時期に、同じテーマの本が欲しい場合があるので、そのセットを増やしてほしい。
- ・ 委 員 そのような状況を解消するために、電子書籍を導入すると伺った。電子書籍のサイトに皆がアクセスし、1冊の本をWeb上で共有できると聞いている。
- ・ 委 員 以前紹介したが、南信州の事例では学校図書館と公共図書館の共通プラットフォームを持っているが、学校図書館と公共図書館が連携した総合目録の作成が1つのヒントになるのではないかと。電子図書館を進めつつ、総合目録を作っていくことはお互いに良いのではないかと。費用的な問題はありますが。
- ・ 委 員 島の小学校にかめまる号が来てくれるのはありがたい。小学生は朝から楽しみに待っている。中学校は昼に来てくれるが、中学生は部活動の昼練習に忙しく貸出があまり伸びていない。前任校の中学校では、学校図書室の利用については生徒によって両極端だった。授業では多くの資料を用意していただき活用させていただいた。今後とも、よろしくお願いいたします。
- ・ 委 員 移動図書館車は、毎月の日程が決まっているのか。
- ・ 事務局 決まっている。日程表も配布している。
- ・ 委 員 停車場所とスケジュールについて、インターネット上にカレンダーを掲載している。
- ・ 委 員 市の広報に掲載しているのか。
- ・ 事務局 広報には掲載していないが、市のホームページに掲載している。図書館のホームページでも公開している。
- ・ 委 員 保育所や幼稚園のステーションが多いが、一般の利用者も行ってよいのか。
- ・ 事務局 一般の利用者やお迎えのお母さん方も利用いただけるようになっている。
- ・ 委 員 貸出件数については、全館で減少している。しかし飯山図書館は、貸出の減少率が少ない。このため、飯山図書館の位置づけが全市町の中で重要なのではないかと。中央図書館がなくなることはあり得ないが、高齢化と人口減少が進んでいく中、今後、全市域レベルの図書館の長期計画が必要になってくると思う。移動図書館も全体より貸出の減少率が進展している現状なので、飯山図書館の維持をどうとらえていくか、市全体の人口動態を踏まえたサービスを考えていくべきだと思う。中央図書館の役割は重要であるので、ここを拠点に考えていくが、貸出は、市民との繋がりが一番わかりやすく出るので、ここで伝えておきたかった。

(3) その他

特になし

14. 閉会

15. 事務連絡

- ・事務局 特になし